

産地収益力の向上と、にんにくの生産拡大 ～カーリングの街、常呂地域の取組～ 【北海道北見市】

【生産者の声】

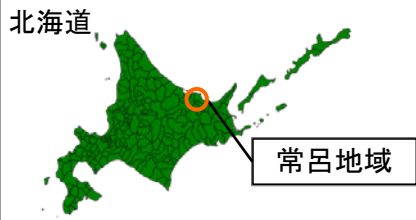
暗渠排水を行ったことにより排水性が良くなり、品質向上や収量アップにつながった。基盤整備事業に参加して本当に良かった。



にんにく生産者のMさん

【取組地域の概要】

○位置
北海道北見市



○主要作物
・小麦、馬鈴薯、玉ねぎ、甜菜、小豆等

○主な支援施策
・国営直轄明渠排水事業(H18～H23)
・道営畑地帯総合整備事業(S51～)ほか

基盤

基盤整備による生産性の向上及び品質の確保

排水路や暗渠排水などの排水改良及び客土などによる土壌改良により、**農作業の省力化や玉ねぎなどの高収益作物の生産性向上と品質の確保**を実現。

【整備後】



基盤整備

(S51年～現在)

【整備前】

粘性土や泥炭土などの特殊土壌が広く分布しており、**排水不良等による湛水で高収益作物等の安定生産に支障**をきたしていた。



排水不良等による湛水状況

生産現場

高収益作物の生産拡大と効率化

- 既存作物と作業時期が重ならない高収益作物として、在来品種である「**ところピンクにんにく**」の**生産を推奨**。
- にんにく生産では、それぞれの営農作業の用途にあわせた機械を導入し、効率化する取組を推進。



にんにく収穫

加工・流通

企業誘致による高付加価値化の実現

- 工場を誘致し企業と連携することで、販路の拡大及び黒にんにくなどの**高付加価値化された商品の販売を促進**。



担い手

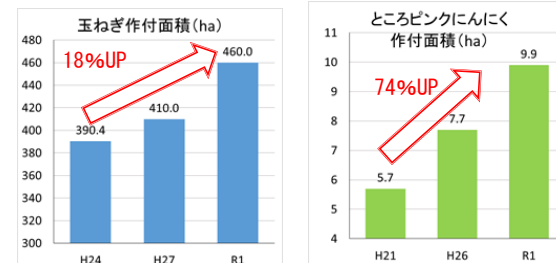
新規就農等の確保に向けた取組

- 農業体験宿泊施設(うえる)を設置。**地域農家との連携により農業研修生を受入れ**。



余剰労働力を活用した高収益作物の拡大

- **農作業の効率化や余剰労働力などを活用した高収益作物(玉ねぎ、にんにく等)の生産拡大**。



出典：JAところ

出典：JAところ

女性たちを中心とした地域活性化の取組

- 地産地消の取組を通して、町内の非農家の方々と協力し、地域の活性化を図る活動を実施。



地元の食材を使ったレシピ集を作成



レシピ集を作成した「ところよめさんねっとわーく・さくらちゃん」のメンバー

【生産者の声】



暗渠排水により畑の水はけが良くなり、適度な水気のホクホクしたじゃがいもが生産出来るようになりました。

農業者の〇さん

基盤

基盤整備による生産性の向上と営農作業の効率化を促進

暗渠排水や除礫により、**排水不良の解消**や**作物の品質向上**が図られたことにより、**じゃがいもの生産拡大が実現**。



(S45年～現在)

基盤整備

【整備前】

本地域は堅密な土壌であるため、**透水性が悪く排水不良**を起こしていた。また、礫の影響により**根の伸長阻害**や**作業効率の低下**を招いており、農業経営に支障を来していた。



石礫の状況



湿害の状況

【取組地域の概要】

〇位置

北海道紋別郡遠軽町白滝



白滝地区

〇主要作物

・馬鈴薯、スイートコーン、甜菜、小麦等

〇主な支援施策

- ・道営農用地開発事業 (S45～S54)
- ・道営畑地帯総合整備事業 (S62～H20)
- ・中山間地域総合整備事業 (H9～H12)
- ・農業基盤整備促進事業 (H24～)

生産現場

基盤整備による「白滝じゃが」の安定生産の実現

- 〇「白滝じゃが」は標高300～500mに位置する道内一標高の高い生産地。
- 〇**湿害の解消**により生育不良が解消されたため、**安定生産が実現**。



加工・流通

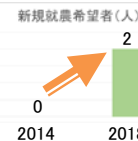
じゃがいもレシピで販路拡大

- 〇標高が高いため**昼夜の寒暖差が大きく「でんぷん価」が高い**
- 〇収穫後「室(ムロ)」で越冬させ、夏まで保存することで甘味が凝縮。
- 〇H18からじゃがいもの料理コンテスト「じゃがリンピック」を開催。**「白滝じゃが」を遠軽町の特産品として認定**。



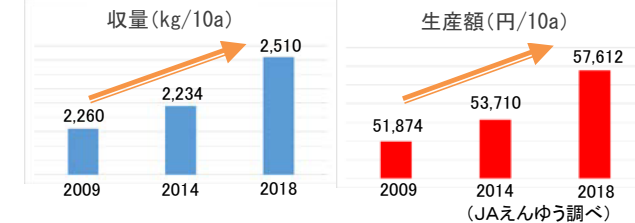
離農予定者の畑で新規就農する「第三者継承」の取組

- 〇「第三者継承」など新規就農者の**「白滝担い手サポートチーム」**を結成、スムーズな就農支援により、**新規就農希望者が増加傾向**。



通気性が改善され「白滝じゃが」の生産性が向上

- 〇基盤整備により、じゃがいもの安定的な生産が可能になり、10a当り収量・生産額ともに**10年間で約1割増加**。



「第三者継承」で新規就農した農家による新たな取組

- 〇「えづらファーム」はH24に**第三者継承により新規就農**。H27より自宅の2階を自ら改修して**農家民宿を開業**。
- 〇農産物のネット販売、農業体験・住み込みボランティアの受入、企業研修の受入等、**地域の活性化に貢献**。



農家民宿



新規就農のみなさん

【生産者の声】

基盤整備により収穫機械が大型化、えだまめの作付面積を拡大することが出来ました。



えだまめ生産組合のN組合長

基盤整備による作業効率の向上と安定生産

暗渠排水など基盤整備の実施により、排水性などのほ場環境が改善されたため、**農業者の積極的な大型機械の導入**が進んだ。その結果、効率的な営農が実現され、**創出された時間で高収益作物の生産が拡大**。

基盤



馬鈴薯の作付け



えだまめの収穫

【整備前】

排水不良による生育障害や作業機械の走行性の低下、さらには収穫時期の降雨により**適期の収穫が困難**など、農家にとっては**大きな負担**となっていた。

基盤整備

(S47年～現在)



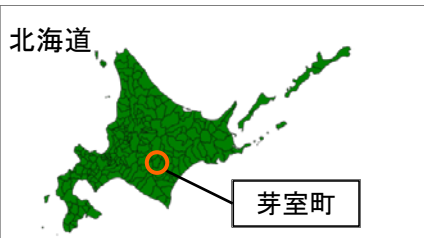
湿害による生育不良



湿害による農作業への影響

【取組地域の概要】

○位置
北海道河西郡芽室町



- 主要作物
・小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類
・スイートコーン、野菜類 等
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(S56～H16)
・国営畑地帯総合パイロット事業(H5～H13)
・道営畑地帯総合整備事業(S47～)
・団体営農地耕作条件改善事業(H28～H30)

生産現場

受委託生産方式による作業効率化

○じゃがいもの生産において、播種から収穫までの**受委託生産**を行い、新規**大型機種導入**による**コスト削減を実現**。また、**一環した生産管理**を行うため、**安定した生産量が見込め**、同時に**労働時間の短縮**が実現。

○結果的に**創出された費用・時間**により**新たな挑戦が可能**となり、野菜や豆類などの高収益作物の生産に取組むことで、**所得向上**に寄与。



生産組合による収穫作業

増え続ける需要に対応した加工施設の拡大

○近年、安全・安心志向の観点から国産農産物への要望が多く、外食産業を中心に一般家庭の需要も増加。JAめむろでは、さやいんげんやえだまめの**加工処理能力の拡大を目指し施設を増設**。令和元年8月より本格稼働。

○JAめむろが運営する**直売所「愛菜屋」**では、**新鮮な採れたて野菜が数多く並び**、ここでしか買えない一品を求めて連日**多くの人々が並び**。



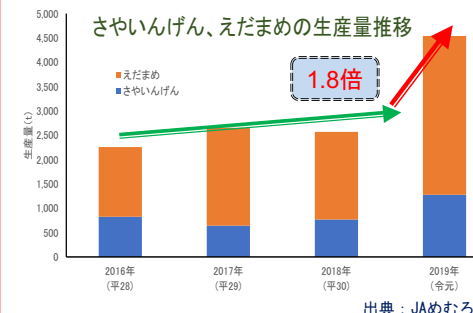
JA直売所「愛菜屋」

生産規模の拡大と地域ブランド力の向上

- 収穫時期の8月は、1年間で降水量が最も多いが、**基盤整備の実施により、畑の排水性が向上**。**適期の収穫により高品質な農産物を提供**。
- 安全・安心な**国内産への安心**や**ニーズ**が高まる中、加工施設の増設を契機に、農産物を**安定的に供給する体制が確立し**、生産者の**収益力が向上**。
- 「**土勝めむろ**」ブランドとして全国に発信。



農産物処理加工施設



基盤整備により農産物の生産は安定しており、課題であった集荷先となる加工施設の拡大を契機に生産量は大幅に拡大。

【生産者の声】

基盤整備のおかげで、ブロッコリーの生産が拡大しました。



ブロッコリー生産者のAさん

基盤整備による余剰労力の創出と高収益作物の安定生産

区画整理や暗渠排水、除礫等の基盤整備により、**生産性の向上**と、大型機械化による**農作業の省力化**が実現。豆類などの**主要作物の安定生産**が図られるとともに、**余剰労力の創出**によりブロッコリーなどの**高収益作物の導入**が促進された。

基盤



基盤整備 (S46年～現在)

【整備前】

火山性土壌に起因する**排水不良**や**耕土に多く含まれる石れき**により、生産性の低下や作業機械の損傷等、**農業経営の安定化に支障**をきたしていた。



【取組地域の概要】

○位置

北海道河東郡音更町



○主要作物

・小麦、豆類、馬鈴薯、甜菜、野菜類等

○主な支援施策

- ・国営かんがい排水事業 (S46～H1)
- ・道営畑地帯総合整備事業 (S44～H22)
- ・道営農地整備事業 (畑地帯担い手育成型) (H23～)
- ・農業生産体質強化総合推進対策事業 (S63～H9)
- ・強い農業づくり事業 (H17～H23)
- ・産地パワーアップ事業 (H27～H30)

生産現場

営農支援・生産工程分業による合理化

- JA木野特産物センターでブロッコリーの苗立てを行い生産者に提供。
- 馬鈴薯・大豆などは、**コントラク等による営農支援・分業**により**労力が低減**。



加工・流通

品質確保のための取組

- JA木野を中心に、生産・流通の向上性を追求した**音更町ブロッコリー運営協議会**を組織し、ブロッコリーの生産振興に寄与。
- 生産指導から流通まで**一元的に管理**。全国でもいち早く製氷機を導入した**低温流通**で鮮度を維持。



地域振興

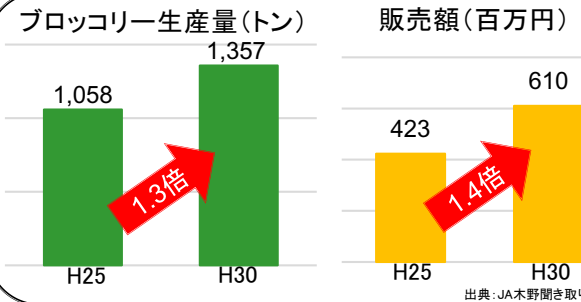
地元の素材にこだわったオリジナル商品

- 地元商工会とラーメン店が連携し、「**音更町ら～麺組合**」を発足。音更産小麦と音更産ブロッコリーを使った**ブロッコリー麺**で**地域の活性化**に貢献。



新たな輪作体系の確立と地域活性化

- 基盤整備の実施により従来の主要作物である小麦、大豆、馬鈴薯、甜菜に、野菜を加えた**新たな輪作体系が確立され生産性が向上**。
- 創出された時間でブロッコリーなど**高収益作物の生産が拡大**。
- 収穫量が安定し、**道内有数のブロッコリー産地を形成**。
- ご当地グルメ！「**ブロッコリー麺**」で**地域を活性化**。



【生産者の声】

畑は個人のものではなく、日本の食料供給を支えるみんなの財産。だからその畑を預かる僕らにとって基盤整備はとても大切。



「食卓に笑顔を」 生産者のOさん

基盤

基盤整備による労力節減の効果

基盤整備によりほ場の傾斜緩和や排水性が改善され、農作業効率が向上。**生み出された“時間”が新しいチャレンジのきっかけとなり、リーキ、ゆり根などの高収益作物の導入意欲が向上。**



全国への出荷作業



リーキ(西洋ネギ)作付け

基盤整備

(S63年～現在)

【整備前】

ほ場の排水不良や急傾斜、石れきにより生産性・作業性の向上に支障をきたしていた。



排水不良による湿害の発生

【取組地域の概要】

○位置
北海道中川郡幕別町



幕別地域

○主要作物
・小麦、豆類、甜菜、馬鈴薯、野菜類等

○主な支援施策
・道営水利施設等保全高度化事業(H24～)
・道営畑地帯総合整備事業(S63～H17)
・道営農道整備特別対策事業(H30～)

生産現場

個性的な野菜栽培を通じた新たな取組

- 基盤整備による省力化のため、リーキ、ゆり根などの高収益作物を導入。
- これを契機として6次産業化への取り組みを実施。
- 一部の生産者の中には、作物に有機JASの認証を取得し、差別化を図るなど消費者に安全・安心を届けている。



リーキ(西洋ネギ)

加工・流通

定期に開催される直売イベントも大人気

- 生産した作物を直接地域の人へ届ける直売所「ひより」を運営。
- 町内には、生産者が自らの作物を持ち寄り販売できるイベントが豊富にあり、地域住民や観光客の高い人気を得ている。



直売所「ひより」

担い手

行政・JAが一体となった取組

- 幕別町とJAにて設立した幕別町農業振興公社において後継者や新規参入希望者を対象とした研修事業「まくべつ農村アカデミー」を開催、町内の担い手確保・育成の取組を実施。



まくべつ農村アカデミー

豆の加工販売により所得が向上

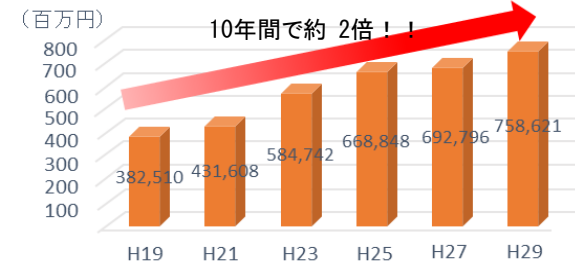
- 基盤整備でほ場の排水性が向上し、豆類の作付けが増加。
- 有機黒大豆と有機小豆を焙煎した「お茶」や「きなこ」などの加工品の販売を行うなど、農家の所得向上に寄与。



黒豆・小豆の加工品

【写真左から】お茶・きなこ・リーキとゆり根のポタージュ

豆類販売額の推移



(出典:十勝管内JA要覧)

【生産者の声】

おいしい牛乳をみんなに飲んでほしいです。



鶴居村ふるさとまつり「牛乳プリンオレ直売会」

【取組地域の概要】

○位置

北海道阿寒郡鶴居村



つるい中央地区他

○主要作物

・牧草、青刈りとうもろこし等

○主な支援施策

- ・道営草地整備改良事業 (S50~54)
- ・道営草地整備改良事業 (S53~56)
- ・道営中山間総合整備事業 (一般) (H9~14)
- ・道営担い手育成草地整備事業 (H8~15)
- ・道営担い手育成草地整備事業 (H12~16)
- ・道営草地整備改良事業 (公共牧場中核型) (H18~23)
- ・多面的機能支払交付金 (H26~)

基盤

草地整備による効率的な高位生産性草地への転換

- 草地整備や暗渠排水の実施により生産性と大型機械による作業性が向上し、高品質かつ高収量草地への転換が図られた。



【大型機械による収穫】

基盤整備

(S50年~現在)

【整備前のほ場状況】

- 草地の急傾斜・しゅう曲や起伏、地表水の滞水などにより、粗飼料の生産性や農作業機械の作業性の低下を招いている。



【傾斜・しゅう曲の多い牧草地】

生産現場

良質な生乳生産を地域全体で支援

- 「JAくしろ丹頂植生改善プロジェクト」(JA、鶴居村、普及センター、農業開発公社)が村内の牧草の栄養価を高め、自給飼料を最大限に活用し、生乳生産の向上を図る取組を実施。



プロジェクトチームによる植生調査

加工・流通

乳製品の開発とブランド化の取組

- 鶴居村「酪楽館」では乳製品の加工体験やブランド化に向けた研究開発を実施。また、集落単位での良質な生乳を使用したチーズ作りが盛んに行われている。
- 「酪楽館」で開発された「ナチュラルズ「鶴居」」のブランド名で6種類のチーズを地元店舗やインターネットで商品を販売。
- ファームレストランでは地元生乳を使用した料理を提供。また運営会社では鶴居村の魅力や観光情報の発信拠点として台湾オフィスを開業し、観光客を呼び込むなど地方創生に貢献。



ゴールドラベル



ミルクカレー

担い手

都市住民との交流促進と担い手支援

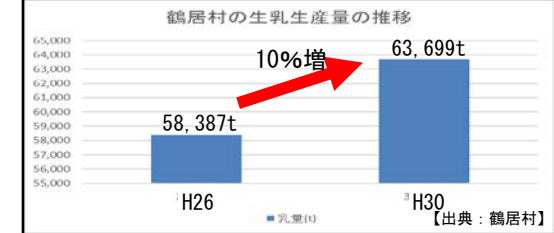
- 都市住民も参加した農業・加工体験を通じて酪農主体の鶴居村の魅力を発信。「酪楽館」ではチーズ、ソーセージづくりなどの体験や「鶴居村ふれあい農園」で5~11月の期間に農作業体験ができる。
- 新規就農を目指す者に対し、村単独の行政支援(新規就農者等対策補助金)により新規就農を後押し。



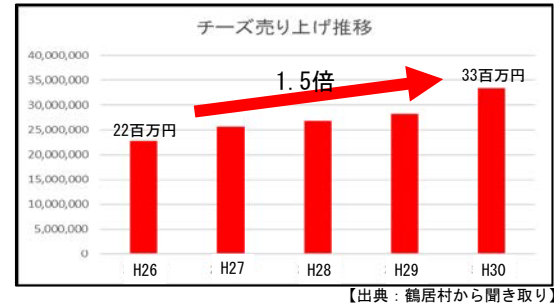
チーズづくり体験

生乳生産量増加と品質向上による乳製品の生産拡大

- 草地整備による生産性向上や公共牧場への育成牛預託・TMRセンターの営農支援等による生産の合理化が図られ、生乳生産量の増加や品質が向上。



- 生乳生産量の増加や品質の向上により、チーズ等の乳製品の販売額が増加。



- 農泊推進対策事業を活用した農泊ポータルサイトの開設やパンフレットの配布、首都圏や道央圏でのプロモーション活動により、「鶴居」の知名度が向上。観光客や宿泊者数が増加し、新たに所得が向上。

【生産者の声】

預託者から哺育作業が減り楽になったと好評です。その分、規模拡大で搾乳牛を増やすことで地域全体の乳量が増えています。

(株)グリーンランド標津 専務

草地整備の実施による生産性の向上

基盤

起伏修正等の草地整備により凹凸や傾斜が解消されることで**大型機械の導入も可能となり**、走行性が改善。
牧草の収量の増加や**営農作業の効率化**による**労働時間の短縮**により、酪農経営の**安定化が実現**。



大型機械による牧草の刈り取り

基盤整備

(S57年～現在)

【整備前】

草地の起伏(凹凸)や傾斜により機械の走行性が悪く、**効率的な営農や規模拡大に支障**。



凹凸による刈り残し状況

【取組地域の概要】

- 位置
北海道標津郡標津町



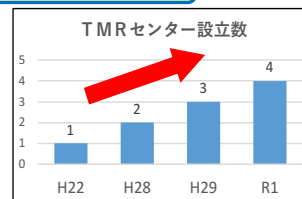
トド山地区 他

- 主要作物
・牧草、青刈りとうもろこし等
- 主な支援施策
・国営農地開発事業(S40~46)
・国営大規模草地事業(S44~49)
・道営畑総事業(S45~H28)
・道営草地整備事業(S57~)
・農業基盤整備促進事業(H29~)

生産現場

生産の合理化による経営の安定化

- 計画的な草地整備と併せた**TMRセンターの設立・活用等**による飼料生産の合理化で、**さらなる農業経営の安定化と飼料自給率の向上**が実現。



加工・流通

「標津牛乳ブランド」を広くPR

- JA標津では、**地元産生乳のみを使った牛乳・乳製品**の製造を拡大。
- しべつ牛乳アイス**は、標津町のふるさと納税の返礼品として人気。



しべつ牛乳アイス

担い手

新規就農者等の確保に向けた取組

- 地域のイベントとして「**しべつ牛乳フェスティバル**」の開催や、**バター作り体験**を実施。
- 小中学校を訪問**し、牛乳の生産工程などを伝えるの学習会を実施し、**将来を担う地域の子供達を育成**。



経営規模拡大等による農業所得の向上

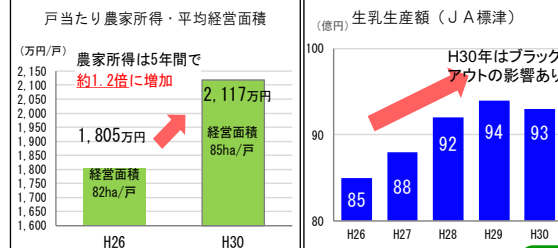
- 良質な粗飼料の確保**や**営農作業の効率化**により、経営規模拡大を促進。
- TMRセンターの導入を契機とした**経営の効率化による増頭**で乳量が増加。
- 「**しべつ牛乳**」など地域の特産品を積極的にPRし、**農家所得の向上**に貢献。



しべつ牛乳



標津ゴータチーズ



【出典：各種表・グラフはJA標津聴き取り】

【お問い合わせ先】

北海道農政部農村振興局農村設計課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL :011-231-4111 (内線27-864)

FAX :011-232-0027